

(S2019-58 用)

研究課題名	脳卒中の医療体制の整備のための研究 J-ASPECT study (Nationwide survey of Acute Stroke care capacity for Proper designation of Comprehensive stroke center in Japan)
研究期間	西暦 2020 年 2 月 1 日 ~ 西暦 2021 年 3 月 31 日
研究の目的と意義	<p>本邦の脳卒中診療の中核施設における包括的脳卒中センターとしての施設要件および診療の質的評価と治療成績、予後との関連を調査し、地域格差を考慮した適正な配置について提言を行うことを目的とします。</p> <p>より重症な脳卒中を治療するセンターには、専門治療技術を修得した専門医が必要ですが、外来、入院レセプト電算ファイル、DPC データを集積し、解析することによって、地域における脳卒中および関連する脳神経外科治療（脳梗塞に対する t-PA 静注療法と脳血管内治療、脳内出血に対する血腫除去術、くも膜下出血および未破裂脳動脈瘤に対するクリッピング術とコイル塞栓術など）の施設集中度とアウトカムが視覚的に明らかとなると考えられます。</p>
研究方法	調査期間内（承認日～西暦2021年3月31日）に入院し、追跡期間内に退院となった患者さんのデータをインターネットを介して登録し、業務委託した会社がデータを収集し保存します。収集されたデータを解析し、脳卒中をはじめとした脳神経外科医療の見える化に役立てます。収集するデータは、個人を特定できる情報（住所、氏名、生年月日等）は含みません。また、データの保管管理は、パスワードを設定したファイルとして管理し外部と接続できないパソコンで厳重に取り扱います。
個人情報の保護、研究参加の拒否について	利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。
結果の公表	研究で得られた結果は、学会、医学専門誌への発表を予定していますが、その際にも、患者さんの名前など対象者を特定できる情報は含まれません。
問合せ先	【研究責任者】 京都第二赤十字病院 脳神経外科 副部長 村上 守 〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 TEL : 075-231-5171 (代) FAX : 075-256-3451 (代)